

< 1. NEXCO 中日本金沢支社の冬期交通確保への主な取り組み >

① 雪氷対策作業の人員及び車両体制

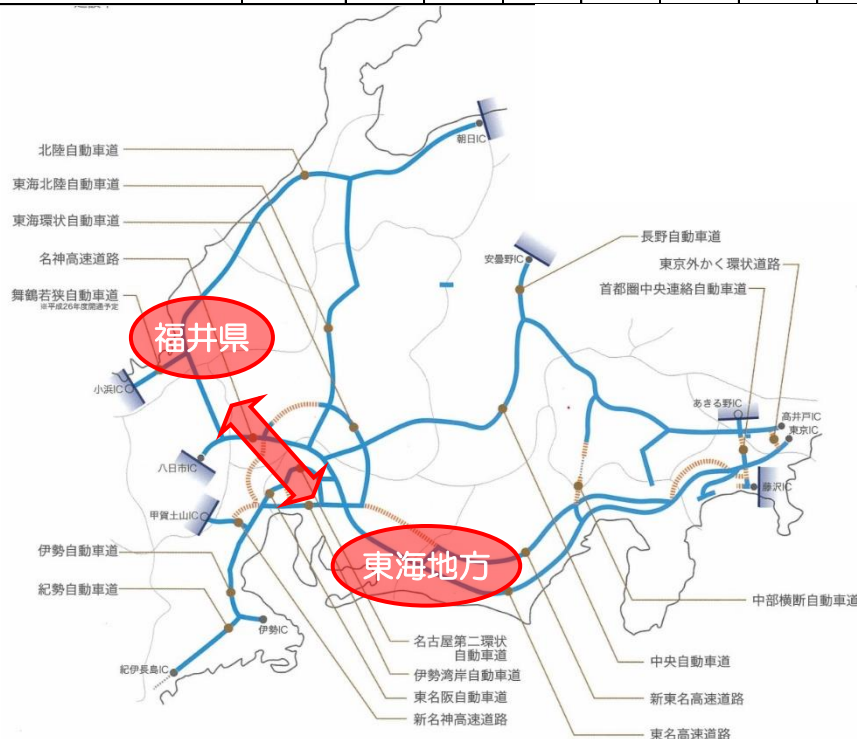
金沢支社では、2016年度の冬期交通確保に向けて定期的な路面の凍結防止作業や除雪作業などをおこなうため、次表に示す現場体制で雪氷対策作業に臨みます。

- ・ 除雪作業は、降雪予測に応じて路面上の積雪量が5cmを超えないように作業に取り組んでいます。
- ・ インターチェンジ区間により差がありますが、事故や立ち往生車両などによる交通障害がないように1時間あたり3cmから強降雪区間では8cm程度までの降雪強度に対応できる体制としています。

高速道路で異常な降雪が発生した場合や降雪に伴う立ち往生車両が多数発生した場合に、各支社、各保全・サービスセンター間相互の応援派遣などにより、除雪作業の強化とレッカー車等による立ち往生車両の救援をおこないます。

また、昨年度に引き続き、東海地方に配備した除雪トラック6台、湿塩散布車1台、自走式標識車3台の計10台を福井県に継続配置し、相互利用を図ります。

事務所名 (HSC : 保全・サービスセンター)	道路名	敦賀 HSC		福井 HSC	金沢 HSC	富山 HSC		計				
		北陸道	舞鶴 若狭道	北陸道	北陸道	北陸道	東海 北陸道	北陸道	東海 北陸道	舞鶴 若狭道		
管理区間(IC間)		木之本 ～ 今庄	小浜 ～ 敦賀 JCT	今庄 ～ 加賀	加賀 ～ 小矢部	小矢部 ～ 朝日	白川郷 ～ 小矢部 砺波 JCT	木之本 ～ 朝日	白川郷 ～ 小矢部 砺波 JCT	小浜 ～ 敦賀 JCT		
管理延長	(km)	44.7	39.0	60.1	69.6	84.3	42.6	258.7	42.6	39.0	340.3	
雪氷基地	(箇所)	3	2	3	5	4	3	15	3	2	20	
雪氷対策作業従事者	(約〇人)	160	70	110	110	160	70	540	70	70	680	
除雪	除雪トラック	(台)	24	11	17	18	24	11	83	11	11	105
	モーターグレーダー	(台)	—	—	—	2	—	—	2	—	—	2
凍結防止剤散布	湿塩散布車	(台)	2	3	4	4	7	3	17	3	3	23
	溶液散布車	(台)	2	1	1	2	1	1	6	1	1	8
	小型散布車	(台)	2	—	5	4	4	1	15	1	—	16
排雪	ロータリー車	(台)	3	2	4	4	6	3	17	3	2	22
	トラクターショベル	(台)	12	6	8	5	5	4	30	4	6	40
その他	自走式標識車	(台)	9	4	6	7	8	5	30	5	4	39
	巡回車(塩分濃度測定器付)	(台)	1	—	1	1	2	1	5	1	—	6
計	(台)	55	27	46	47	57	29	205	29	27	261	



東海地方の降雪に備えた雪氷車両（10台）の相互利用イメージ

② 監視カメラによる交通障害の早期発見

当支社が管理する高速道路では、降雪状況や路面状況に加え、交通障害を早期に把握するため、監視カメラを前年度から23基（うち福井県内14基）増設し、212基設置しています。

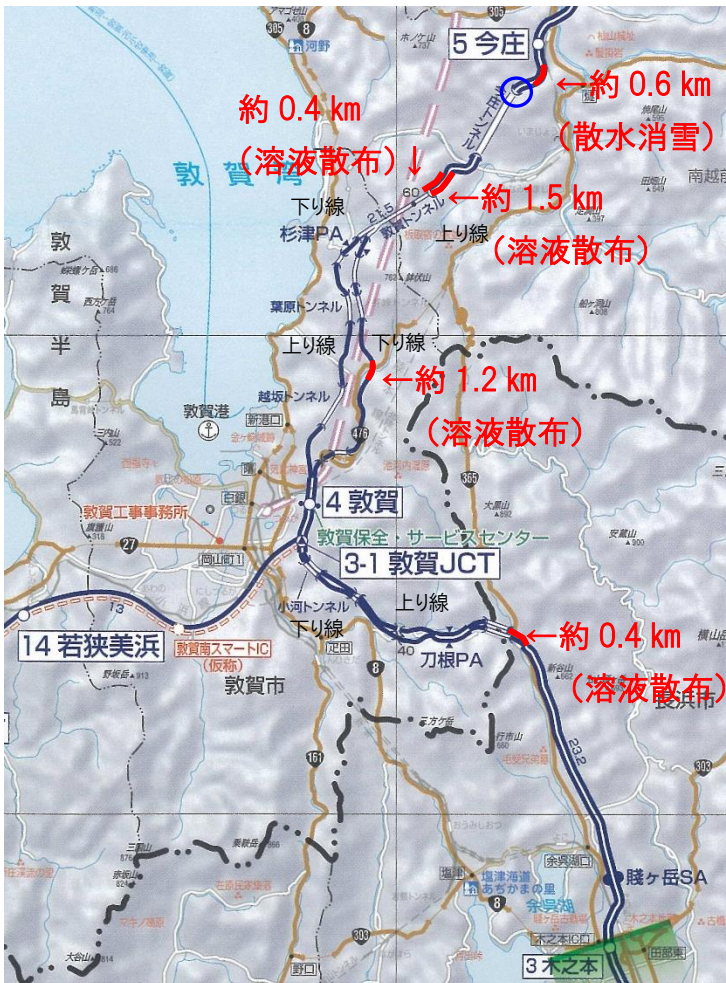
具体的には、本線登り坂勾配が3%以上の区間を監視し、雪道で登坂できない車両など、交通障害の早期発見に努めるとともにパトロール車両で簡易チェーンの装着やレッカー車などによる救援をおこないます。



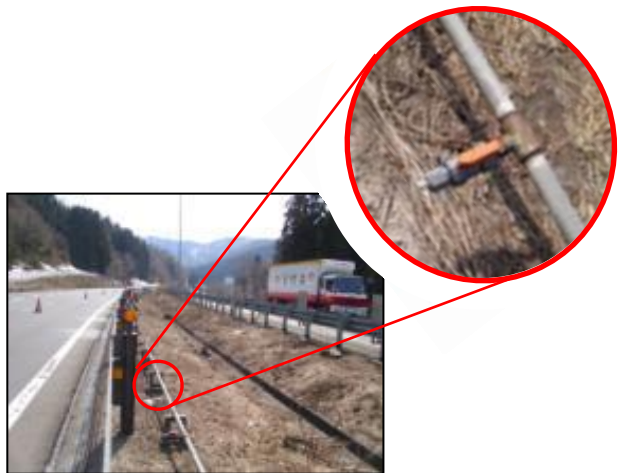
③ 融雪設備の整備

北陸自動車道 木之本IC～今庄IC間の急な登り坂区間などにおいて、定置式の溶液散布装置と散水消雪装置（地下水利用）を全体で約4.1km設置しており、降雪時には、両設備を用いて雪道で登坂できない車両の発生など、交通障害を抑制します。

過去に登坂不能車両が発生した箇所を鑑み、融雪設備の整備を進めており、今冬期に向けては、下図の青丸箇所において、散水区間の延長を試行する予定です。



定置式溶液散布状況



定置式溶液散布装置

<2. お客さまへのお願い>

① 早めの冬装備

高速道路をご利用されるお客さまには、早めの冬用タイヤの装着やタイヤチェーンを携行していただき、また、雪道での安全運転をお願いします。

特に北陸自動車道「木之本 IC～今庄 IC」までの間は、降雪が多い山間部を走行いたします。登り坂では、トラックなどの大型車は冬用タイヤを装着していても登坂不能となる場合があります、大変危険ですので、必ずタイヤチェーンを携行いただくようお願いします。

② 冬用タイヤ装着確認作業（チェーンチェック）へのご協力

降雪時には、「賤ヶ岳サービスエリア下り線（富山方面）」や「南条サービスエリア上り線（米原方面）」等で全てのお客さまの車両を対象にサービスエリアなどに誘導し、一旦停止していただき冬用タイヤの装着状況について確認作業をおこなうことがありますのでご協力をお願いします。

- ◆ 冬用タイヤ装着規制中の区間で、タイヤの装備が不十分な場合、事故を引き起こす可能性が高い車両とみなして供用約款（※）により、Uターンまたは最寄 IC で高速道路から退出していただくことがあります。

※供用約款については、当社ホームページをご参照下さい。

[http://www.c-nexco.co.jp/highway_rule/pdf/stipulation.pdf]

- ◆ 各都道府県の道路交通法施行細則または道路交通規則による積雪・凍結時の滑り止めの措置を行わなければ、罰則（罰金および反則金）の対象になります。

③ 除雪作業、ツララ落とし作業などの低速走行時のご協力

降雪の有無に関わらず早朝などの冷え込みが予想されますと、ツララが成長し、落下の危険性がありますので、降雪状況に関わらずツララ落とし作業をおこなうことがあります。

除雪作業、凍結防止剤散布作業およびツララ落とし作業は、通勤時間帯などの混雑時間帯を極力避けて実施しますが、やむをえず混雑する時間帯でも作業が必要となりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、低速走行で作業をおこなうため、渋滞が発生する場合があります。追突事故防止のため、渋滞後尾でのハザードランプ点滅など、安全な走行にご協力をお願いします。

※作業実施状況は、3. 「お客さまのスマートフォンで除雪作業者の位置がわかります。」で情報提供します。



編成（2～3台）による除雪状況



トンネル内のツララ落とし状況



＜3. 冬の高速道路の安全な走行に向けて さまざまな方法で情報を提供しています＞

① お出かけ前

冬の雪道情報「アイハイウェイ中日本」や携帯電話での音声案内サービス「ハイウェイテレホン #8162」をご利用ください。

アイハイウェイ中日本は、「冬用タイヤ規制」「通行止め」などの交通状況情報に加え、12時間先までの「雪」または「大雪」が降る可能性のある高速道路区間を着色（■大雪が予想される区間 ■雪が予想される区間）で表示します。

※詳しくは、参考資料をご覧ください。



[<http://c-ihighway.jp/>]

② 高速道路を走行中

本線情報板、広域情報板、ハイウェイラジオなどで交通状況をご確認ください。



広域情報板による情報提供

③ 休憩施設で

ハイウェイ情報ターミナルによる交通情報と、ライブカメラによる路面状況の情報をご覧いただけます。



ハイウェイ情報ターミナル



路面状況画像の提供

④ 高速道路でのトラブル発生時

「非常電話」のほか、道路緊急ダイヤルやお客さまセンターをご利用ください。

道路緊急ダイヤル 「#9910」

NEXCO 中日本お客さまセンター 「フリーダイヤル 0120-922-229」

(ご利用できないお客さまは、052-223-0333 通話料有料)

⑤ スマートインターチェンジご利用時

当支社では、除雪作業などに伴うスマートインターチェンジ閉鎖情報のメール配信サービスを行っています。ご利用は、携帯電話で下記アドレス宛に空メールを送信していただくことにより、運営サイトからサービス利用登録のご案内をメール送信いたします。



[regist@c-nexco-kanazawa.info]

お客さまのスマートフォンで除雪作業車の位置がわかります。

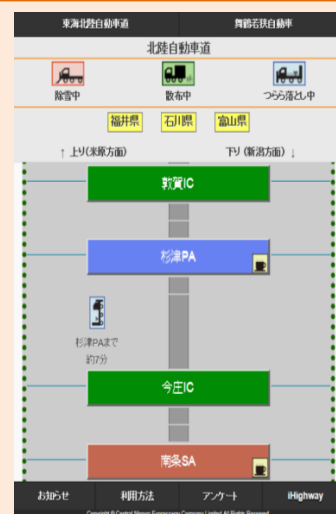
当支社が管理する福井・石川・富山県内の高速道路では、除雪作業がどこで行われているか下記アドレスにアクセスして頂くことでお客さまのスマートフォンにて閲覧することができます。

なお、提供期間は、平成28年12月1日から翌3月15日を予定しています。

※試行的に運用していることからご利用を制限させて頂く場合があります。



[<http://snowcar.vpis.jp/>]



表示イメージ